

履修モデル

学位取得に向けて研究するために、研究課題に即した適切な授業科目を選択しなければならない。そのため、以下の履修モデルを参考に研究課題に即したオリジナルな履修計画を立てることとなる。

情報コミュニケーション専修	研究題目	メディアの社会的影響に関する研究—マスメディアとインターネットの比較を通して—	
	養成する具体的な人材像	I T社会における各種メディアの作用について実証的な事例を通して、理解し、分析し、応用できる人材の養成	
	研究内容	現代社会はメディアの多様化が著しく進展した社会である。実際、人々は日常的に新聞やテレビという既存の各種マスメディアと接することによって、さまざまな情報を入手するとともに、インターネットからも多様な情報を入手しつつ、自己の意思決定に役立てている。これら各種メディアの社会的影響を実証的に考察するためには、第1に、それぞれのメディアが有している固有の機能や作用の基本的な理解が必要となる。その基本的な理解を踏まえて、第2に、個々のユーザーの観点から、メディア利用の類型化を行い、利用類型ごとの分析が必要となる。言い換えれば、新聞を熱心に読むユーザーと、テレビを頻繁に見るユーザー、そして、今日のインターネットの利用が多いユーザー、それぞれのケースの実証的な分析が必要になる。さらに、第1、第2の考察の上に、第3に、メディア・パフォーマンスの観点からのアプローチも欠かすことはできない。本研究は、以上の3つの観点から総合的に研究を進め、現代社会の構造的特質へのより深い理解を目指すものである。	
	指導教員	小谷 敏教授 研究計画、全般的指導、社会情報論的観点からの研究指導 干川剛史教授 情報社会論的観点からの指導	
	履修科目	1 年次	
		(基礎科目) Developing Critical Thinking Skills (1 単位) Critical Reading and Writing (1 単位) (基礎理論分野) 社会情報研究基礎論 (2 単位) メディア研究基礎論 (2 単位) コミュニケーション研究基礎論 (2 単位) 情報社会及び情報倫理特論 (2 単位) 社会情報の歴史 (2 単位)	(社会・経済と情報分野) 日本経済情報特論 (2 単位) 放送・通信特論 (2 単位) マスコミ言語特論 (2 単位)
		(研究指導) 現代社会研究特別演習Ⅰ (2 単位) 現代社会研究特別研究Ⅰ (4 単位)	(研究指導) 現代社会研究特別演習Ⅱ (2 単位) 現代社会研究特別研究Ⅱ (4 単位)
		必修4科目12単位、選択10科目18単位、合計14科目30単位履修	

臨床社会学専修	研究題目	ハビトゥスによって生じる男性に従属的な女性の行為—女性の性的な支配からの解放を目指して—	
	養成する具体的な人材像	専門社会調査士。ジェンダー意識と社会調査の技能をもち現実社会の諸問題を分析し実践的解決に向かうことのできる人材。	
	研究内容	男女のハビトゥスに沿った支配＝従属関係には、共依存的な示唆が含まれているということに依拠し、ハビトゥスによって生じる男性に従属的な女性の行為を調査し、ミソジニーを内面化する女性の傾向より、女性性が性支配を再生産してしまう機序を考察し、女性の解放的な行為について検討する。調査では、定量的調査の二次分析から10代女性のジェンダーへの態度とその規定要因を析出し、20代女性へのインタビュー調査より支配＝従属関係の契機と様態を明らかにする。	
	指導教員	池田 緑准教授 全般的指導、研究テーマの選定、研究計画、研究方法、定性的調査の指導、研究結果の整理と考察、ジェンダー論理論の研究指導。研究発表、修士論文の作成の指導 牧野 智和教授 権力論、定量的調査の指導、研究指導	
	履修科目	1 年次	
		(生と死の臨床分野) 死と死別の臨床心理 (2 単位) ケアの社会学特論 (2 単位) (ジェンダー臨床分野) ジェンダーの社会学 (2 単位) ジェンダーと家族 (2 単位) ジェンダーとポストコロニアリズム (2 単位) (現代社会理論・社会調査分野) 社会思想特論 (2 単位)	(ジェンダー臨床分野) ジェンダーとセクシャリティ (2 単位) ジェンダーと法律学 (2 単位) (現代社会理論・社会調査分野) 多変量解析 (2 単位) 社会調査特別演習Ⅱ (2 単位)
		(研究指導) 現代社会研究特別演習Ⅰ (2 単位) 現代社会研究特別研究Ⅰ (4 単位)	(研究指導) 現代社会研究特別演習Ⅱ (2 単位) 現代社会研究特別研究Ⅱ (4 単位)
		必修4科目12単位、選択10科目20単位、合計14科目32単位履修	